

第4回 南相馬市ゼロカーボン 推進計画策定委員会



国際航業

公共コンサルタント事業部

2023/2/6

目次

- 1 第4回委員会の位置づけ・目的
- 2 第3回委員会の意見とその対応
- 3 (仮称) 南相馬市ゼロカーボン推進計画の
骨子案
- 4 取り組むべき施策について
～ 南相馬市らしさ ～
- 5 令和5年度の委員会・分科会について

1 第4回委員会の位置づけ・目的



1. 第4回委員会の位置づけ・目的

ゼロカーボン推進計画の検討に向けた議論

- ・ 計画で重要なポイント **南相馬市「らしさ」** の議論を深める
- ・ 南相馬市らしい **具体的施策の方向性** に関する意見交換

令和4年度 (仮称) 南相馬市ゼロカーボン推進計画 骨子案の作成

第1回 (R4.10.14) ゼロカーボンや委員会への理解

第2回 (R4.11.9) 現状の取組と課題の議論

第3回 (R4.12.20) 削減目標と規模感の共有

第4回 (R5.2.6)

**本委員会の目指す形 (計画骨子案) の確認
と課題の深堀**

分科会

分野ごとに具体的な目的や施策を協議

第5回～

計画素案へのご意見と反映

令和5年度 (仮称) 南相馬市ゼロカーボン推進計画策定



2 第3回委員会の意見とその対応



2. 第3回委員会の意見とその対応

前回委員会でご意見と対応方針について下記に整理した

No.	主要なご意見	対応方針	資料NO
1	事業種別ごとのエネルギー需要量	・2019年度の化石燃料別エネルギー需要量を示す。	別紙1
2	アンケートの回収率の低さ、具体的な内容と結果	・本アンケートは回答者の属性に偏りはないため、市の平均的な意見は概ね集約できたと想定する。別紙3参照。	別紙3
3	南相馬市らしい点の整理	・アンケートやご意見を踏まえ、南相馬市らしい産業として「農業」「再エネ」「新産業」を取り上げる。	本委員会のテーマ
4	BAUシナリオにある構成は、製造業の縮小＝製造量減少と解釈される	・BAUシナリオの将来値は、市の将来人口値にかなり引っ張られている点が現状である。	別紙2
5	削減目標の内訳（省エネ分と再エネ分の比率の根拠）	削減目標の内訳は別紙2参照	別紙2
6	子供たちのアイデア活用	・教育の場を通して再エネ、省エネ、まちづくりのアイデアを取り入れる仕組みを検討する。	—
7	削減量の規模感は簡明なものに	・市民との削減量の規模感を共有できるよう、理解しやすい計画書の作成に努める。またパンフレット・ネットを活用した広報を行う。	別紙2
8	分科会の枠組み・テーマは簡明なものに	・検討テーマを設定し、議論が活発化するよう事例等の情報を共有しながら進める。	本委員会のテーマ



前回委員会のおさらい（市の取組と計画の背景）

令和5年度『（仮称）南相馬市ゼロカーボン推進計画』策定のために

国・県計画や政策との整合 市の他計画や政策と連携・整合

【国】脱炭素の基盤となる重点対策

【県】脱炭素に係る主な施策

南相馬市ゼロカーボンシティ宣言

南相馬市復興総合計画：基本構想

南相馬市再生可能エネルギー推進ビジョン：基本施策

南相馬市環境未来都市計画：目標

まちづくり全体の課題解決 南相馬市第三次総合計画（素案）より

急激な少子高齢化への対応

事業者が安心して事業継続できるよう
風評払拭に向けた取組の推進

産学官連携や新産業の集積・振興
持続可能な産業の創出

度重なる自然災害への対応

世界的な社会経済情勢の変化への対応

住民・事業者アンケート からの課題解決

廃棄物・ごみ排出量の削減

リサイクルの推進

再エネ導入への補助金活用や
その方法等の情報提供

経済合理性に対する不安

人材育成、普及啓発

皆様のご意見

南相馬市らしい「農業」を生かした計画

教育の場から再エネ・省エネ推進

子供たちのアイデア活用

森林の利活用・吸収源の確保

南相馬市における課題解決
+ ゼロカーボンシティの実現



3 (仮称) 南相馬市ゼロカーボン 推進計画の骨子案



3. (仮称) 南相馬市ゼロカーボン推進計画の骨子案

第1章 計画の基本的事項

第2章 南相馬市の地域特性

第3章 温室効果ガスの状況

第4章 温室効果ガスの削減目標

第5章 温室効果ガス排出量削減の取組

第6章 南相馬市の率行的行動(事務事業編)

第7章 計画の推進 ※別紙4参照

■ 住民・事業者の声を反映した計画

第4節 市民・事業者の地球温暖化に関する意識

- 1) 地球温暖化に関する意識及び取組状況等
- 2) アンケート調査等で示された主な課題

■ 南相馬市らしさを反映した計画

第1節 基本的事項(南相馬市らしさとは)

第2節 施策の体系

- ※1) 市全体での排出量を削減する取組
- ※2) 市外の排出量削減への貢献と市の産業発展

第3節 施策の展開

※1)：農林業や再エネ含む全ての産業が対象。
市全体でどう取り組むか？
(ゼロカーボン、さらにマイナスへ！)

※2)：南相馬が生み出す製品・商品等が日本や世界の
温室効果ガス削減にどう貢献していくか？
また、市の発展にどう寄与していくか？

先端技術から生まれる
省エネ技術の波及、市内産業の発展等

本日は、特に重要な2項について議論を深める。



本日の委員会の進め方

本日、議論したい事項は下記の3つ

1-1. 第2章 南相馬市の地域特性（住民）

アンケートの結果を踏まえ、より住民が地球温暖化対策に取り組むためには何に意識すべきか

1-2. 第2章 南相馬市の地域特性（事業者）

アンケートの結果を踏まえ、事業者が地球温暖化対策を導入するための支援とは何か。

※取り組みに向けた第一ステップ。その後の「ゼロカーボン社会に備える」ことが必要。

2. 第5章 温室効果ガス排出量削減の取組

南相馬市の風土（南相馬市らしさ）と具体的施策の方向性

3. 分科会の区分とテーマ

4 取り組むべき施策について ～南相馬市らしさ～



4. 取り組むべき施策について～南相馬市らしさ～

『第2章 南相馬市の地域特性』に関わる検討

第4節 市民・事業者の地球温暖化に関する意識

■ 市民の意識

- ・ 脱炭素や再エネ導入に多くの人が賛成、一方で乱立する現状に懐疑的な意見も多い
- ・ 再エネ導入に伴い**農業の衰退、森林の伐採による南相馬市らしさの消失を懸念**
- ・ ごみの削減・分別、リサイクルへの取組には意識が高い

■ 取組状況

- ・ LED導入など省エネ設備の導入は積極的だが、再エネ設備の導入は進んでいない
- ・ 「節約」、「災害の備え」には積極的に支出

■ 住民の期待

- ・ 地域住民への電力供給、災害時の非常用電源利用
- ・ 廃棄物の排出削減、食品ロス削減、リサイクルへの取組
- ・ わかりやすい広報、生活に取り入れやすい対策
- ・ 乱開発の抑制と空地の有効活用

住民 アンケート



計画point ・ 市民の「節約・備え」が脱炭素・再エネに連携するように
・ 再エネは市民の安全と南相馬市の風土の保全に繋がるように

確認:市民が積極的に温暖化対策に取り組むために必要なもの(節約,備えのほかに)。
南相馬市の風土(南相馬市らしさ)とは。



『第2章 南相馬市の地域特性』に関わる検討

第4節 市民・事業者の地球温暖化に関する意識

■ 事業者の意識

- ・地球温暖化対策は**企業の社会的責任の一環**
- ・地球温暖化が**事業経営にリスクを与えると危惧**

事業者 アンケート

■ 取組状況

- ・環境管理のための社内制度の導入、組織は**設置していない**
- ・EV車の導入等の取組について、**今後の実施を検討している。**

■ 事業者の期待

- ・**コスト縮減効果が見込めれば、補助金や優遇制度で取組める（脱炭素と経営の両立）**
- ・**設備導入の手続きの簡略化**



計画point ・ 補助金 ・ 優遇制度及び設備導入手続きの簡略化

確認：地球温暖化対策を導入していただくための支援（補助金、優遇制度）とは。 ※取り組みに向けた第一ステップへの支援策



議論頂きたい内容

<市民>

- 「節約・備え」に連携する脱炭素対策等とは何があるか？



蓄電池



EV

<事業者>

- 社内制度の確立や地球温暖化対策は、補助金等の導入で促進されるのか？





第5章 温室効果ガス排出量削減の取組

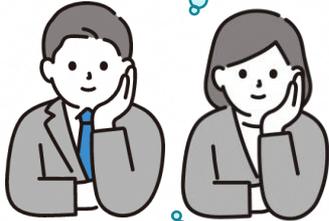
カーボンニュートラル達成に向けた基本的な考え方

単純な脱炭素だけでなく、同時に**地域の課題解決**が必要



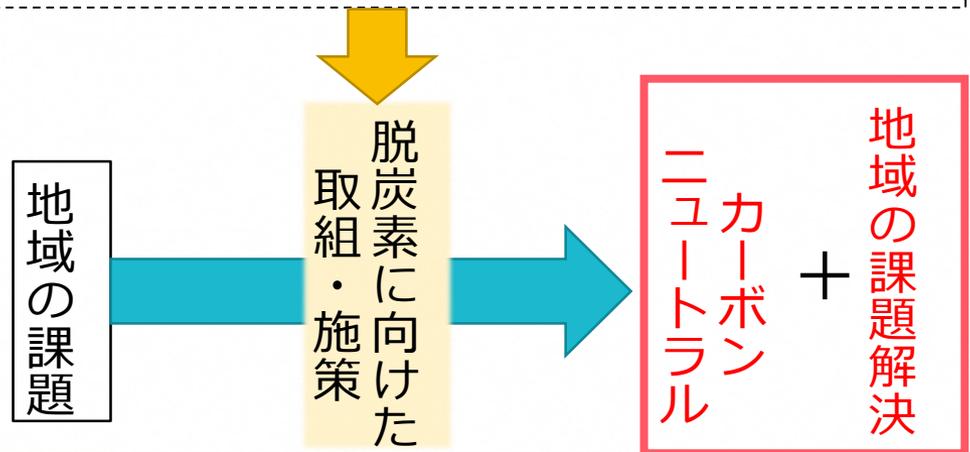
南相馬市の特徴・理想の未来像を把握、イメージすることが重要

南相馬市の特徴・らしさとは、



こういう未来になればいいなあ

課題解決の取組は**時間軸**（短期・中長期）を意識した検討
Ex)先端技術産業で省エネ・市の活性化⇒**中長期**
再エネ・省エネ導入支援⇒**短期的**



第5章 温室効果ガス排出量削減の取組



カーボンニュートラルの推進と同時に「地域課題の解決」も必要
⇒南相馬市らしい地域特性の確認が重要

「南相馬市らしさ」：3つのキーワード

①市の基幹産業 農業

<市に広がる風景>

- ・ 第1次産業の90%
- ・ 震災からの復興

②再エネ導入率 の高さ

<再エネ先駆地>

- ・ 市消費エネの94%
- ・ 再エネによる環境教育
- ・ 再エネ観光資源化

③新産業の育成

<国の復興重点政策>

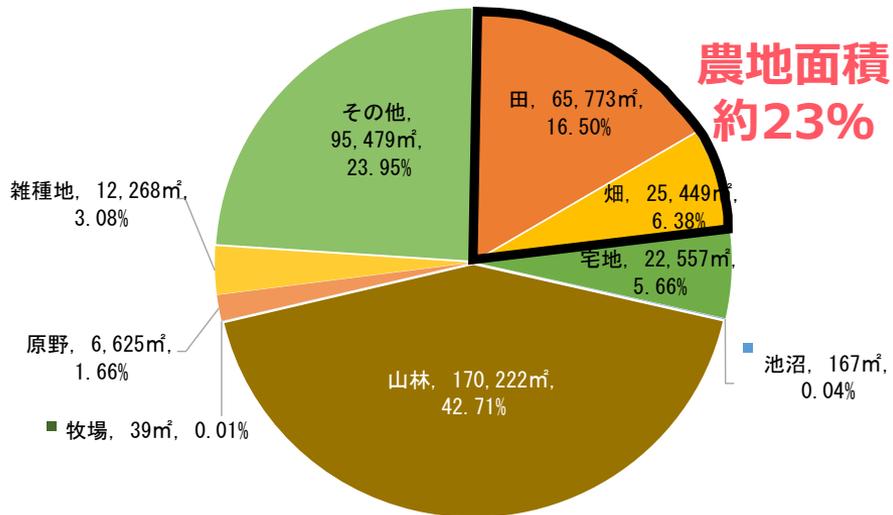
<新たな産業の創出>

- ・ 世界一のロボット実証実験エリア
- ・ 新しい雇用の創出
- ・ 水素等の新エネルギー産業の創出



南相馬市らしさ①：市の基幹産業 農業

南相馬市の地目別土地面積（R2.1.1 現在）



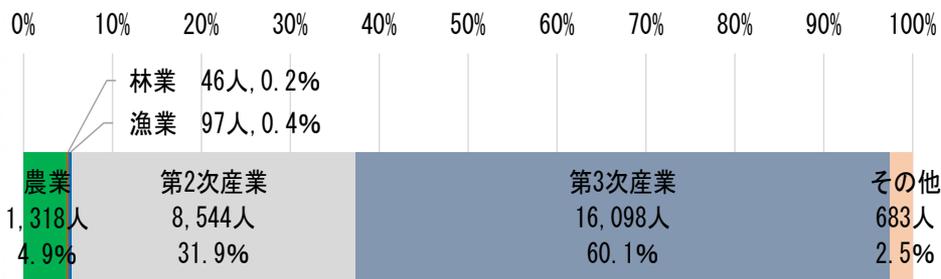
南相馬市の農作物

南相馬市で生まれたお米

南相馬市は夏は涼しく、冬は降雪が少ない温暖な気候のため昔から稲作が盛んだった。震災後は作付けが制限されたが、平成26年度から営農再開、令和2年度には震災前の60%以上まで回復した。平成30年からは、市内の学校給食にも地元米が使用されている。

⇒ **農業による地域再生の実現**

南相馬市の産業別就業者数（R2年度）



農業 約5% (第1次産業のうち90%)

■ 農業 ■ 林業 ■ 漁業 ■ 第2次産業 ■ 第3次産業 ■ その他



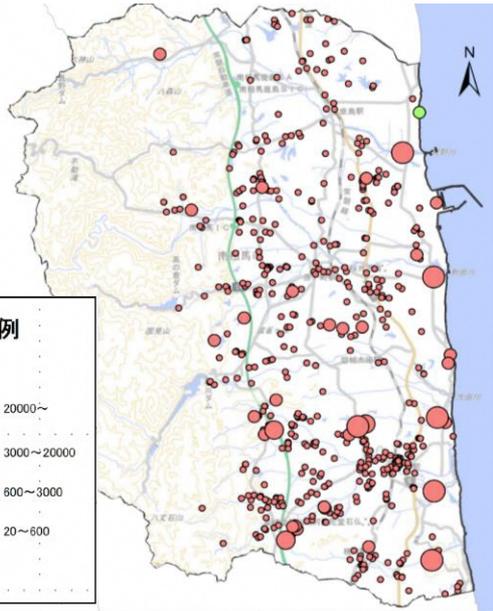
(南相馬市 経済部農政課)



南相馬市らしさ②：再エネ導入率の高さ

市内における再エネ導入状況

太陽光・風力発電施設の分布状況



相双地域の市町村別 FIT認定設備の状況 (2021年3月末時点)

市町村	太陽光		風力		バイオマス		水力		地熱		合計	
	〔件〕	〔kW〕	〔件〕	〔kW〕	〔件〕	〔kW〕	〔件〕	〔kW〕	〔件〕	〔kW〕	〔件〕	〔kW〕
南相馬市	4,107	278,458	1	9,400	0	0	0	0	0	0	4,108	287,858
相馬市	2,208	127,138	0	0	1	44,439	1	40	0	0	2,210	171,617
相馬郡新地町	559	9,045	0	0	0	0	0	0	0	0	559	9,045
相馬郡飯館村	366	40,036	1	6,460	0	0	0	0	0	0	367	46,496
双葉郡広野町	246	26,883	0	0	0	0	0	0	0	0	246	26,883
双葉郡檜葉町	537	47,363	0	0	0	0	0	0	0	0	537	47,363
双葉郡富岡町	278	96,715	0	0	0	0	0	0	0	0	278	96,715
双葉郡川内村	114	59,321	0	0	0	0	0	0	0	0	114	59,321
双葉郡大熊町	138	11,270	0	0	0	0	0	0	0	0	138	11,270
双葉郡双葉町	72	25,095	0	0	0	0	0	0	0	0	72	25,095
双葉郡浪江町	421	82,070	0	0	0	0	0	0	0	0	421	82,070
双葉郡葛尾村	119	2,191	0	0	0	0	0	0	0	0	119	2,191
福島市(参考)	11,966	153,876	0	0	1	3,929	6	2,995	1	440	11,974	161,240

相双地域では太陽光発電件数に対して発電容量が大きく、**発電所1箇所当たりの規模が大きい**。
 その中でも南相馬市は、太陽光の発電設備容量が非常に大きく、**相双地域の中で一番高い値**となっている。

再エネ体験ツーリズム

太陽光発電設備による小中学生対象の環境学習の提供。本物の太陽光発電所の巡視点検等、子ども達が楽しく充実感をもって仕事を体験することを通して、再生可能エネルギーについての新たな啓発を行っている。

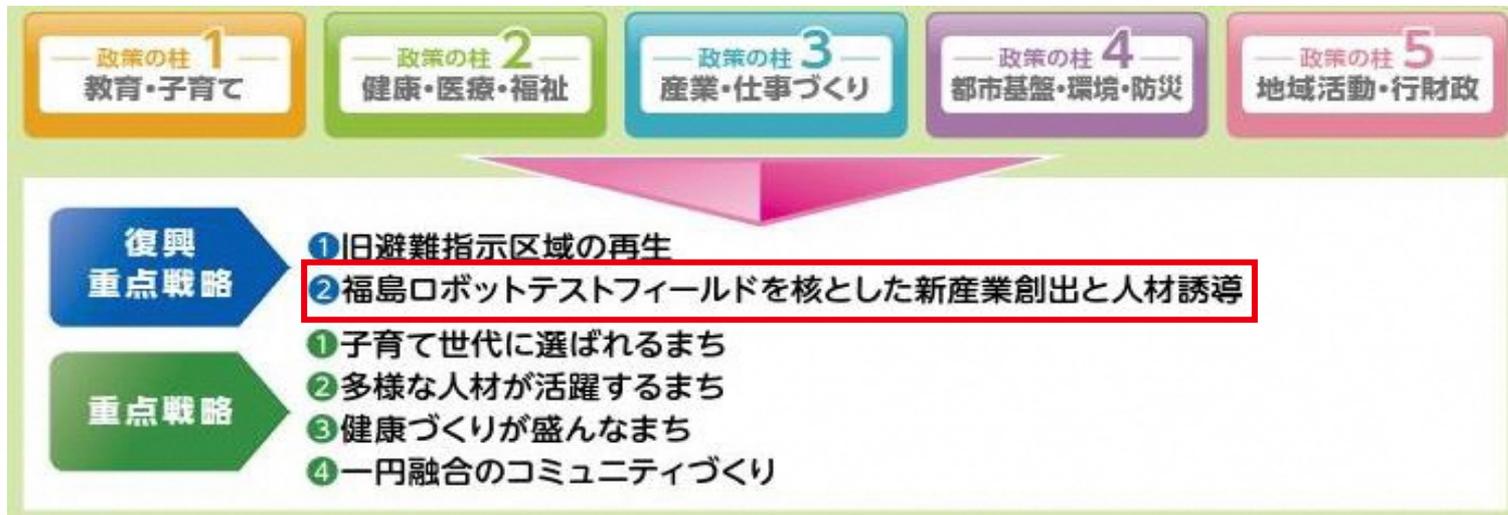


あすびと福島の取組

南相馬市らしさ③：新産業の育成（ロボット・新エネ等）



『南相馬市復興総合計画後期基本計画』での位置付け



『福島イノベーション・コースト構想』 『南相馬ロボット振興ビジョン』

東日本大震災・原子力災害により喪失した
**浜通り地域の産業回復のため、新たな産業
基盤の構築を目指す国家プロジェクト。**

その拠点の1つとして「**福島ロボットテスト
フィールド**」が南相馬市に開所したことを
きっかけにロボット関連企業が市内に集まり、
南相馬ロボット産業協議会が発足。

⇒ **新しい雇用の創出・地元製造業の再活発**

『福島イノベーション・コースト構想』

重点分野「エネルギー・環境・リサイクル」
の中で、隣接自治体に研究フィールドが整備
されている等、水素事業に取り組む環境が整備
されつつあり、他自治体に比べ実験や実証等
に取り組みやすい環境がある。

**新エネルギーによる温室効果ガス削減の他に
新産業による雇用の創出、市内経済への貢献
も期待される。**



議論頂きたい内容

南相馬市ならではの、将来の取組について意見を頂きたい

- ✓ 取組のキーワードは前述の3つ（農業・再エネ・新産業の育成）で良いか？
- ✓ その他にキーワードとなるような分野等はあるか？



5 令和5年度の委員会・分科会 について



5. 令和5年度の委員会・分科会について

南相馬市ゼロカーボン推進計画策定委員会「分科会」の概要

『南相馬市らしさ』を踏まえた分科会のテーマと運営
下記5分野における分科会を設置予定

市民の取組 ～家庭・教育部門～

- 議論) 住宅への再エネ、省エネの普及推進と支援
- 議論) 環境学習機会の提供と環境教育の推進
- 議論) 現状・施策の適切な理解への情報発信
- 廃棄物の削減等（ライフスタイルの転換）

新産業の育成

- 議論) ロボット産業の育成・地元経済への貢献
- 議論) 水素等の利活用・社会展開
- 議論) イノベーションによる省エネ技術の展開

事業者の取組 ～産業部門～

- ①産業部門
- ②業務他部門
- 議論) 新規事業、新規取引への展開
- 議論) 再エネ・省エネの導入支援（収益に連動）

農業生産者の取組 ～農業部門～

- 議論) 環境保全型農業の普及・拡大
- 議論) 未利用農地の利活用

吸収源の確保 ～林業部門～

- 議論) 森林の適切な管理
- 議論) 地元木材の利活用（バイオマス発電等）



検討時には時間軸をイメージする →短期、中長期の目標・方針をたてる。



令和5年度スケジュール

時期	区分	内容（仮）	備考
4～7月	分科会	<ul style="list-style-type: none">➤ 個別に具体的取組に関する協議（施策に関わる詳細な議論）を実施➤ 4月：現地視察会➤ 5月：第1回分科会➤ 6月：第2回分科会	<ul style="list-style-type: none">・ 現地視察会は市内の取組事例を視察・ 必要に応じて7月に第3回分科会を検討
8月下旬	第5回委員会	<ul style="list-style-type: none">➤ 計画素案の報告➤ 素案に関する意見集約	
10月中旬	第6回委員会	<ul style="list-style-type: none">➤ 計画案の報告➤ 計画成案、公表	<ul style="list-style-type: none">・ 計画案はパブコメにより意見徴収



議論頂きたい内容

- 分科会の区分
- 分科会で扱う議論のテーマ
- 分科会のスケジュール感



情報をつなげる力で、
人・社会・地球の未来をデザインする

